

研究課題 (テーマ)	富山県内企業とロボット関連企業をまとめてリサーチ － ものづくり展示会を活用したキャリア形成 －		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	高木 昇
	知能ロボット工学科	教授	神谷和秀
研究結果の概要			
<p>知能ロボット工学科の主に学部2年の学生に対して、富山県内企業の認知度を高め、すでに富山県機電工業会と連携して実施している「知能デザイン工学特別講義2(選択科目・学部3年生対象)」の受講増につなげ、富山県内定着率の向上を目指した。また、昨年度より学科名称に「ロボット」を冠することとなったため、新入生はもちろん、在学生に対しても、ロボットに関連する展示会(MEX金沢2019, 富山県ものづくり総合見本市, 2019国際ロボット展)に引率して、キャリア形成について考える機会を提供した。その結果、以下の成果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 多数の富山県内企業が集まる展示会として、石川県産業展示館で開催されたMEX金沢2019とe-messe kanazawa 2019, 富山産業展示館で開催された富山県ものづくり総合見本市, および、東京ビックサイトで開催された2019国際ロボット展に学生を引率することで、効率よく富山県内企業の情報を学生が学ぶことができた。 ✓ また、展示会で富山県内企業の認知度を高めることに加え、ロボット関連企業について注目するように事前の指導を行い、知能ロボット工学科の基礎および専門分野を学ぶ意欲を高めることができた。 ✓ 加えて、2019国際ロボット展の見学後には、出展企業の協力を得て、ロボット企業の技術者による講演会を開催し、ロボット開発に興味を持たせることができた。 ✓ 展示会では学生に学科名称を名入れしたバックや名刺を持たせ、学生自身が展示会に出展している企業に対して、新学科名称のPR活動を行とわせることで、知能ロボット工学科の学生であることを自覚させることができた。 			
今後の展開			
<p>今後も定期的に展示会を活用したキャリア形成に関する取り組みを行うことで学生の学習意欲を高め、「知能デザイン工学特別講義2」の受講者増につなげ、富山県内定着率の向上を目指す。</p>			